

【一】次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

マレーシアに引越す前、三月に入ると、わたしはお母さんとフジエダ時計店を訪れた。

私は時計を持っていなかったけど、これからの暮らしにはあったほうがいいよねと言って、お母さんが買ってくれることになったから。藤枝のお母さんは、藤枝が小学校に上がる前に病気で亡くなってしまったという話は聞いていた。だから、店にいるのはいつも藤枝のお父さん一人だ。

「お、えーっと同じクラスの……。」

「花岡です。主人がマレーシアに転勤することになって、春休みになったら家族で引越すんです。まさか、わが家が海外に行くことになるなんて思ってもなかったんですけどね。今日は、向こうに行く前に、この子に時計を買おうと思って。」

「そうですか、春休みに発つんですか。ちよっと待ってくださいね。」

「コ、下りてこい、コとお父さんが藤枝を呼ぶ。」

A

藤枝はとくに仲がいいわけでもなかったから、会っても何も話すことがない。

藤枝は、人物デッサンの本を片手に下りてきた。同じ世代の男子が夢中になっているような少年マンガ雑誌ではなかった。お父さんと同じようなジャージを着て、寝癖がピヨツとはねていた。

藤枝は、なんていうか、ちよっと不思議系男子だ。

ふだんからしょっちゅう学校に遅刻してくる。

時計屋の息子なのに遅刻ばかりしてどうするのって先生によく怒られていたけど、どこかいつもうわの空。「起きられなくてすみません。」って謝っても二日後にはまた遅刻する。

藤枝さんとはお母さんがいないから大変なんだよ、ってうちのお母さんは言っていたけど。

「時計買うの？」

藤枝がわたしの手元を見て言った。

わたしはちよっといいなと思ったオレンジ色のベルトの時計を握っていた。文字盤は晴れた日の空色で、色の組み合わせが南国に合っていると思った。

「うん、海外行ったら、時計持ってたほうがいいから。」

「ああ。お父さんがサウジアラビアで油田を掘るんだっけ？」

「全然ちがうし。うちのお父さんはマレーシアでお寿司を握るの。」

「ふうん。マレーシアの時差なら知ってる。日本より一時間遅いんだよな。」

その言葉に①びっくりした。

「よく知ってるね。さすが時計屋の子だね。」

藤枝はわたしの言葉をすると流した。

「いつ帰ってくるの。」

「二年後、みたい。」

「ふーん。」

藤枝はレジの近くにあった電卓を取り出して、何やら打ち込んだ。

「一万七千五百二十回転か。」

「何それ？」

「一日は二十四時間だろ。んで、一年は三百六十五日。それが二年。おまえがマレーシアにいる間に時計が回転する数だよ。」

「うわ、この時計大丈夫かな。そんなに回転する前に壊れそう。」

わたしはオレンジ色のベルトを持ってプラプラ揺らした。

「そう思うなら、買わなくていいよ。別に。」

さっきまでと変わらないポーカーフェイスでも、B 声だった。

あ、②まさかっかな。

そう思っても、もう引越めようがない。

藤枝はなぜかデッサンの本を開き、頭に笠のように被せて店の階段を上って行ってしまった。

「やだね、C 曲げちゃって。ごめんな、あいつは変わってるからな。」

藤枝のお父さんは③眉をハの字にした。

「お嬢ちゃん大丈夫だよ。針が止まることはあるかもしれないけど、電池交換すればちゃんとまた動きだすんだから。壊れはしないさ。」

その笑顔に安心して、その時計を買ってもらったけれど、喉に何かつかえたような感じが取れなかった。

修了式の日に、わたしはクラスのみんなからのメッセージカードをもらった。担任の先生が出席番号順に並べて、リボンを通して束ねてくれている。

わたしはそれをマレーシアに持っていくことにして、離陸する飛行機のなかで初めて読んだ。
一枚目から目を通しながら、ハ行が近づくにつれ、**D**きた。怒らせてしまったから、「とつ」といなくなれ。」とか「アホ。」とか書かれているかもしれない。

広田が書いた『オランウータンにかまれるなよ。』という意味不明なメッセージの次のカードをめくったとき。
『一万七千五百二十回転がなばれ。』

そこには、オレンジ色のベルトの腕時計をつけた女の子が描かれていた。左手は文字盤を向かいに見せる形でピースをしている。わたしが時計を買いに行った日に着ていたパーカと同じものを着ている。

というか、それはわたしだった。

絵の下の方には、ローマ字で『SAYA』と書かれている。

わたしは左の手首の腕時計を見た。時間はもうマレーシア時間に合わせている。

④ ウソでしょ。

まさかエールをくれるなんて思っていなかった。

藤枝がいた日本が雲に覆われて遠くなっていく。

今、引き返してもう一度藤枝に会いたい。

b とつさにそう思った。会っても何を言えいいのか分からない。うまく話せる気はしない。
でも。

E

の間、ずっと会えないなんて。

飛行機の円い窓に顔を向けて、隣のお母さんに見つからないように、私はこっそり泣いた。

(『リマ・トゥジュ・リマ・トゥジュ・トゥジュ』 こまつ あやこ)

問一 —— 線部 a 「うわの空」・ b 「とつさに」の意味として適切なものをそれぞれ次の中から選び、記号で答えなさい。

a 「うわの空」

ア 言われていることを受けとめられず、不満に思うさま。

イ 他のことに心がうばわれて、そのことに注意が向かないさま。

ウ 不都合なことはわざと聞いていないふりをするさま。

エ ほめられていると勘違いして、喜びに気が取られているさま。

オ 気持ちをうまく表現できずに、もどかしく感じているさま。

b 「とつさに」

ア 自然と イ 強く ウ 少しずつ エ すぐさま オ 後々

問二 **A** に入る言葉として適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 今家にいるはずはないのになー

ウ 転校のことは絶対に言いたくないなー

オ わざわざ呼んでくれなくていいのになー

イ いつもはすぐに下りてくるのになー

エ 早く藤枝に会わせてほしいなー

問三 —— 線部①「びっくりした」とありますが、「わたし」はどのようなことに「びっくりした」のですか。その説明として適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 「わたし」とはふだんはとくに仲がいいわけでもなく話すこともない藤枝が、時計のこととなれば夢中になって話したこと。

イ 「わたし」には関心がないように思える藤枝が、「わたし」のためにこっそりマレーシアと日本の時差を事前に調べていたこと。

ウ サウジアラビアで油田を掘るために転校すると勘違いしているような藤枝が、マレーシアについてはとてもくわしかったこと。

エ いつもは遅刻してばかりで時間のことなど気にしない藤枝が、マレーシアと日本の時差を当たり前のように知っていたこと。

オ 変わり者でクラスではいつもひとりぼっちで過ごしている藤枝が、親しくもない「わたし」に気をつかって質問してくれたこと。

問四 B・Dに入る、気持ちを表現した言葉の組み合わせとして適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 怒った ― うれしくなって イ ふるえた ― つまらなくなつて
ウ 冷たい ― どきどきして エ 明るい ― 恥ずかしくなつて
オ 照れくさそうな ― そわそわして

問五 ― 線部②「まずかったかな」とありますが、これはどのようなことに対する気持ちですか。「……こと。」で終わるように、二十五字以内で書きなさい。(「、」や「。」も字数に入れます。)

問六 Cに入る体の一部をひらがなで答えなさい。

問七 ― 線部③「眉をハの字にした」とありますが、これは藤枝のお父さんのどのような気持ちの表れですか。適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 「わたし」に対して申しわけなく思うと同時に、変わり者の藤枝に対して、困ったことだと思う気持ち。
イ 「わたし」に対してうつとうしく思うと同時に、自分勝手な藤枝に対して、腹立たしいことだと思う気持ち。
ウ 「わたし」に対して腹立たしく思うと同時に、個性的な藤枝に対して、ほこらしいことだと思う気持ち。
エ 「わたし」に対してありがたく思うと同時に、意地っ張りな藤枝に対して、情けないことだと思う気持ち。
オ 「わたし」に対していたいたしく思うと同時に、気難しい藤枝に対して、かわいそうなことだと思う気持ち。

問八 ― 線部④「ウソでしょ」とありますが、これはどのようなことを表していますか。その説明として適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 人の気持ちに鈍感な藤枝が、「わたし」が海外の生活に不安を感じていることに前々から気づいて、「わたし」を励ましてくれたことに感動していること。
イ 「わたし」は藤枝に罪悪感を抱いていたのに、藤枝は「わたし」の時計の時間をマレーシアに合わせることしか考えていなかったことにとまどっていること。

ウ 変わり者の藤枝は、時計のことだけにしか関心がなかったのに、「わたし」に内緒でマレーシアの時間に時計を合わせてくれたことに感謝していること。

エ 「わたし」とはあまり仲が良くなかった藤枝が、時計店を訪れたことをきっかけに「わたし」を好きになってくれたことをうれしく思っていること。

オ 「わたし」のせいで怒らせてしまったと思っていた藤枝が、海外に転校する「わたし」に対して応援のことばと絵を贈ってくれたことに驚いていること。

問九 Eに入る言葉を本文中から十字でさがし、ぬき出して答えなさい。

問十 ― 線部⑤「泣いた」とありますが、このときの「わたし」はどのような気持ちだったと考えられますか。その説明として適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア いつも自分のことを思いやってくれていた藤枝に感謝すると同時に、本人に直接謝れなかったことを後悔する気持ち。
イ 藤枝を怒らせて、きらわれてしまったのではないかと心配して張りつめていたのが一気にゆるんでほっとした気持ち。
ウ 今すぐにでも引き返して藤枝に謝罪をして感謝の気持ちを伝えたいのに、それができないことがもどかしく切ない気持ち。
エ 今藤枝に会うことができたとしても、何を言ったらいいのかわからず、うまく話せそうにない自分を情けなく思う気持ち。
オ もう一度藤枝に会ってきちんとあいさつをしたいが、家族のことを思うとそれはできず、何とか我慢しようとする気持ち。

【二】次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

多くの人が十代のときにやっておいたらよかったと言うのは、「旅に出る」ことです。

十代のときは、どんな人もごく小さな世界に住んでいます。あなたがいる場所は、学校、塾、自宅……それ以外では、親戚の家か近所のショッピングセンターくらいでしょう。

①さすがに、小学生で一人旅をするというのは難しいかもしれませんが、自分が知らないところを一人で歩いてみたときのドキドキやワクワクは、ふだんの「いつもの場所」からは決して得られないものです。

意識していないでしょうが、十代のあなたは、両親や家族、友達や先生、あなたが住んでいる地域の大人たちに、守られています。ときには、息が詰まるようなことがあったとしても、そこが安全であることには変わりありません。あなたのまわりの人たちは、あなたのことを知っているし、あなたも、あなたのまわりの人たちを知っています。

②旅のいいところは、自分を知っている人がいない世界を味わえることです。【ア】

僕は十九歳で初めて、海外一人旅を経験しましたが、「半径数千キロ以内に誰も知り合いがない！」というのに、言葉では表せないほどの解放感を味わいました。しかし、同時にすごく不安にもなりました。自分がこのまま野垂れ死んでも、パスポートがなければ、誰も僕だとわからないからです。

いまなら、すかさず携帯電話を取り出して、アンテナが立っているかを確認するところでしょうが、当時は携帯電話もありません。誰も自分の居場所を知らないし、たった一人なんだという状態ほど心細いものはないと思いました。しかし、その心細さが、「生きている」という実感を生みました。

旅先で、見ず知らずの人と会話したり、親切にしてもらったりというのは、旅の醍醐味です。【イ】

海外であれば、自分のつたない外国語が通じただけでうれしくなりますし、それだけで少し大人になったような気分になります。

A、旅には危険なこともたくさんあります。世の中には、いい人ばかりではないことを知るのも、旅を通して知ることの一つでしょう。

あるとき、僕はニューヨークで全財産を盗られたことがありました。後ろから、何語かわからない言葉で話しかけられて、振り向いた瞬間、地面に置いていたカバンを盗まれたのです。ケガをするようなことがなかったのはXと言えますが、僕には電車賃さえなく、

たった一人で犯罪だらけの街に放り出されてしまったわけです。

ぼうぜんとしながらも、しかたなく歩き出しましたが、だんだんとあたりが暗くなってきました。すると、通りすがりの人に、「ここは危ないよ」と注意されました。【ウ】

③そうなんです、ここはニューヨーク。日本人は海外に行くとき若く見られますが、B、その人は僕のことを高校生くらいに思ったのかもしれない。当時、犯罪の多いニューヨークでは、十代の少年が一人で、日が暮れた街を歩いていることはありませんでした。その人は、見ず知らずの僕を心配して、声をかけてくれたわけです。僕は全財産を盗られて、電車賃もないことを説明しました。

C、その人は僕にお金をくれて、気をつけて帰るようにと言ってくれました。このときほど、人の温かさを感じたことはありませんでした。

「旅に出る」と、たくさんの楽しいこと、面白いことに出会える半面、危険な目にも遭います。その点は、十分、注意してください。しかし、考えてみると、それは「旅」だけにかぎりません。【エ】

また、思い切って旅に出たおかげで、あのニューヨークで声をかけてもらったときのように、人の温かさに触れるような体験をたくさんしました。

初対面の人に食事をごちそうになったり、その人の家に泊めてもらったりということも何度もありました。見ず知らずの僕を信頼して、自宅にまで招いてもらえた体験は、自分への大きな自信になりました。

また、世の中には、すばらしい人がたくさんいるし、大半の人は親切なのだということも知りました。

そうした考えを持てたこと——それが僕の④かけがえのない財産であることは言うまでもありません。【オ】

（『十代にしておきたい十七のこと』 本田 健）

問一 A C に入る言葉として適切なものをそれぞれ次の中から選び、記号で答えなさい。

ア つまり イ たぶん ウ すると エ もちろん オ たとえば

問二——線部 a 「醍醐味」・ b 「つたない」の意味として適切なものをそれぞれ次の中から選び、記号で答えなさい。

a 「醍醐味」

ア 苦労話

イ かくし味

ウ 思い出

エ 美談

オ 深い味わい

b 「つたない」

ア ありきたりな

イ 大げさな

ウ へたな

エ 目新しい

オ 面白みのない

問三——線部①「さすがに」はどこにかかっていますか。適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 小学生で

イ 一人旅をするというのは

ウ 難しいかもしれませんが

エ ドキドキやワクワクは

オ 得られないものです

問四——線部②「旅のいいところ」として適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 自分を知っている人がいないために、旅先で自分の好きなように生活することができるところ。

イ 自分のことを全く知らない人と接することで、新しい自分を発見することができるところ。

ウ 世の中にはいい人も悪い人もいるという当たり前のことがさまざまな経験を通してわかるところ。

エ 十代で行くと外国の人と恐れずに会話ができ、自然に語学力や思いやりが身に着くところ。

オ 自分を知る人がいないことで、大きな解放感や生きる実感を味わうことができるところ。

問五 Xに入る慣用的な表現として適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 不幸中の幸い

イ 棚からぼたもち

ウ 転ばぬ先の杖

エ 二階から目薬

オ 犬も歩けば棒に当たる

問六——線部③「そうなんです、ここはニューヨーク」について、あとのⅠ・Ⅱの問いに答えなさい。

Ⅰ Ⅰ・Ⅱで使われている表現の技法として適切なものを選び、記号で答えなさい。

ア 擬人法

イ 体言止め

ウ 対句法

エ 倒置法

オ 反復法

Ⅱ 「ニューヨーク」で起きた出来事を通して、「ニューヨーク」に対してどのような印象の変化があったのですか。

それを説明した次の文の空らん1・2に入る言葉をそれぞれ指定された字数で考えて書き、文を完成させなさい。

盗難に遭ってしまったことで、ニューヨークは「¹ 五字以内」場所という悪い印象であったが、見知らぬ筆者に

心配して声をかけてくれる人やお金をくれる人に出会ったことで「² 十五字以内」場所という良い印象になった。

問七——線部④「かけがえのない財産」とはどのようなことですか。その内容を説明した次の文の空らん A・B に十五字以内の言葉をそれぞれ書き、文を完成させなさい。

初対面であり、外国人でもある自分を信頼してお世話してくれる人に出会ったことで「A」ことと、世の中にはすばらしい人がたくさんいるし、「B」を持てたこと。

問八 次の一文を本文中の「ア」・「オ」のどこかに戻すとすると、どこに入りますか。記号で答えなさい。

「人生」そのものにも当てはまると思います。

問九 本文の内容として正しいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 日本の若者は日本国内にひきこもりやすいので、積極的に海外に旅行に行つて見聞を広めるべきだ。

イ 自分を全く知らない人と出会うことは面白く、楽しいことばかりなので自分への自信も与えてくれる。

ウ できるだけ若いうちに国内外を一人旅すると良くも悪くもいろいろな経験を積むことができる。

エ 見知らぬ人と出会い、人の温かさを知るのは無事に帰国した後なので、必ず安全な国に行くべきだ。
オ 旅では楽しいことも危険なこともあるので、気心の知れた仲の良い人といっしょに行くことよい。

【三】次の各問いに答えなさい。

問一 次の①～⑩の——線部のカタカナは漢字に直し、漢字は読みを書きなさい。

- | | | | |
|---|----------------|---|---------------------|
| ① | テンボウ台に登る。 | ⑥ | うまくいきそうだが、油断はキンモツだ。 |
| ② | アンガイ登山は楽だった。 | ⑦ | リンジ国会が開かれた。 |
| ③ | ボウエキの黒字額が減少する。 | ⑧ | 日本新記録を樹立する。 |
| ④ | 銀行にヨキンする。 | ⑨ | 都合により、本日は休業します。 |
| ⑤ | 絵本をシュツパンする。 | ⑩ | 余計な手間を省く。 |

問二 次の①～④の「」には、それぞれ数字が入ります。その数字をそれぞれ漢数字で答えなさい。

- ① 「」の足を踏む (どうしようかと迷うこと。)
- ② 鶴の「」声 (みんなを従わせる有力者の発言。)
- ③ 石の上にも「」年 (根気強く我慢していれば、最後には報われることのたとえ。)
- ④ 一寸の虫にも「」分のたましい (弱い者にも考えや意地があること。)

問三 次の①・②の言葉と同じ意味になるものをそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- ① さるも木から落ちる ② 猫に小判

- | | | | | | | | |
|---|------------|---|--------|---|------|---|---------|
| ア | 泣きつ面に蜂 | イ | 月とすつぽん | ウ | 豚に真珠 | エ | かつぱの川流れ |
| オ | 能ある鷹は爪をかくす | | | | | | |

問一

a
b

問二

--

問三

[illegible]

問六

問七

問八

[illegible]

問十

問一

A
B
C

問二

a
b

問三

問四

問五

問六

I

II	
1	

[illegible][illegible][illegible]

問八

問九

三三三

⑥	①
⑦	②
⑧	③
⑨	④
⑩	⑤

問二

①
②
③
④

問三

①
②